

令和8年度 沼田市史跡沼田城跡調査成果報告会

報告 文献史料調査の成果

沼田市教育委員会文化財保護課 永井三郎

報告会の趣旨

平成30年度から令和5年度まで実施した、沼田市史跡沼田城跡調査・保存整備事業の成果を報告し、沼田城跡に対する理解を深める。

令和8年2月15日に第1回目の報告会を開催
調査成果の概要と記念講演を実施

2回目となる今回は、文献史料調査の成果の報告と講演

1 沼田市史跡沼田城跡調査・保存整備事業

(1)現在の沼田城：都市公園としての沼田公園

大正5年(1916)から久米民之助による公園整備

昭和28年(1953)、都市公園法適用

レクリエーションの空間、良好な都市景観の形成、都市環境の改善、都市の防災性の向上、生物多様性の確保、豊かな地域づくりに資する交流の空間の提供

運動公園、動物舎、花壇、イベント会場

(2)昭和51年(1976)、沼田市史跡に指定

沼田市街地発祥の要で本市の歴史の起点であるとして、昭和51年3月30日に沼田市史跡に指定

1 沼田市史跡沼田城跡調査・保存整備事業

(3)平成4年(1992)「沼田公園長期整備構想」を策定

沼田城を中心として、市内文化財をネットワーク化するとともに、それぞれの拠点やその周辺を保存整備し野外博物館化し、沼田市全体の歴史的環境を整えることを目的とする。沼田城においては天守・二重櫓・本丸・二の丸の石垣・土塁・門・堀等の城全体の構成を復元整備が必要とする。

(4)平成3年(1991)～平成17年(2005)断続的な発掘調査

西櫓台東面石垣の発見

断片的な情報

沼田城の構造把握は進まず

1 沼田市史跡沼田城跡調査・保存整備事業

(5)NHK大河ドラマ「真田丸」放送

平成28年1月から12月

観光客の増加、知名度の向上

(6)NHKブラタモリ

平成28年2月13日放送

「河岸段丘」「天空の城下町」に注目が集まる

1 沼田市史跡沼田城跡調査・保存整備事業

(7) 沼田市史跡沼田城跡調査・保存整備事業の開始

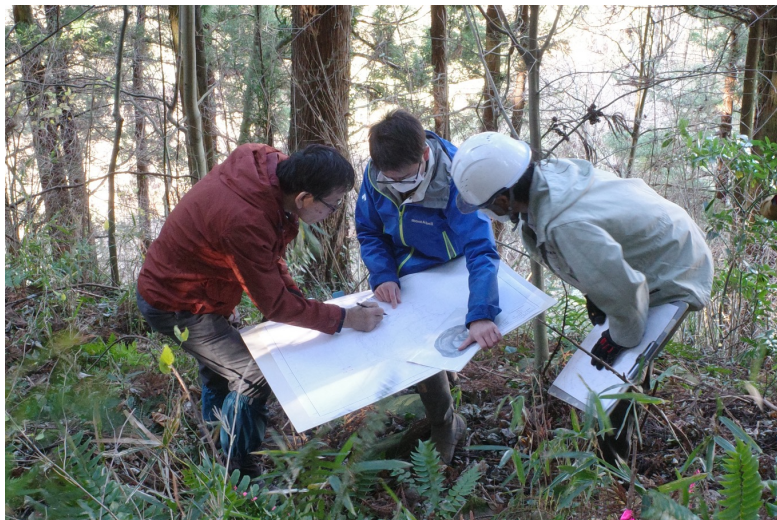
国・県・学識経験者の参加を得て学術的調査

城郭・瓦・陶磁器・史跡整備・文献史料の研究者による専門部会

国庫補助金・県補助金

真田氏により整備された沼田城の構造と歴史を把握

平成29年度から、調査は平成30年度から令和5年度まで



専門部会委員による調査指導

1 沼田城跡調査・保存整備事業

(8)調査の成果

令和6年(2024)『沼田城跡 石垣調査報告書』

令和7年(2025)『沼田城跡 調査総括報告書』として調査を総括
11項目の調査成果、3つの本質的価値



刊行した報告書

1 沼田城跡調査・保存整備事業

(9)調査成果報告会の開催

令和7年度 調査成果全体の概要、記念講演を実施

令和8年度から テーマごとに報告 詳しく、分かりやすく

調査成果パンフレット『発掘された真田の城 沼田城跡』の作成
『発掘 沼田城かわら版』の作成

2 文献史料調査の目的

(1) 調査の目的

沼田城の年代や築城主体の比定および政治史の中での位置づけといった基礎的な情報を整理する

文献史料が示す沼田城の姿

沼田城を考えるための最も基礎的な骨格

発掘調査等の様々の調査により肉付けを行う

3 文献史料調査の方法

(1)第1節 史料の集成

- 戦国時代末期の沼田城争奪戦による城の環境や地位の変化を伝える史料
- 城主交替による景観や構造の変化が窺える史料
- 真田氏の築城や増改築、修復に関わる史料
- 日本史上における沼田城の歴史的 위치づけを明確にする史料

60点の史料を総括報告書に掲載

『沼田城跡 調査総括報告書』第七章第1節

2 北条家傳馬手形 設楽已知氏所藏文書

傳馬壹疋可出之、沼田孫二□被遣、可為公方傳馬也、仍如件
(永祿二年) 未

十一月十七日

かさはら(康明)
笠原藤左衛門 奉

小田原より
倉内まで宿中

【典拠】『戦国遺文後北条氏編 第一卷』六一七

【解説】伝馬とは、街道等の宿に用意された遞送用の馬のことである。
永祿二年（一五五九）には、沼田氏が築いた倉内城を北条氏が接收し、
沼田・小田原間に伝馬を設けていたことが、この史料で判明する。沼田
孫二郎は、沼田城に在城する北条康元。康元は、武蔵国江戸城代北条綱
成の次男で、沼田康元とも言われていた。

3 文献史料調査の方法

(2) 史料の例

3 文献史料調査の方法

(3)第7章第2節 解説

- 1 戦国期における沼田城跡の戦略的位置づけ
- 2 豊臣氏による天下統一と沼田城
- 3 沼田城における普請
- 4 近世沼田城の姿

参考文献

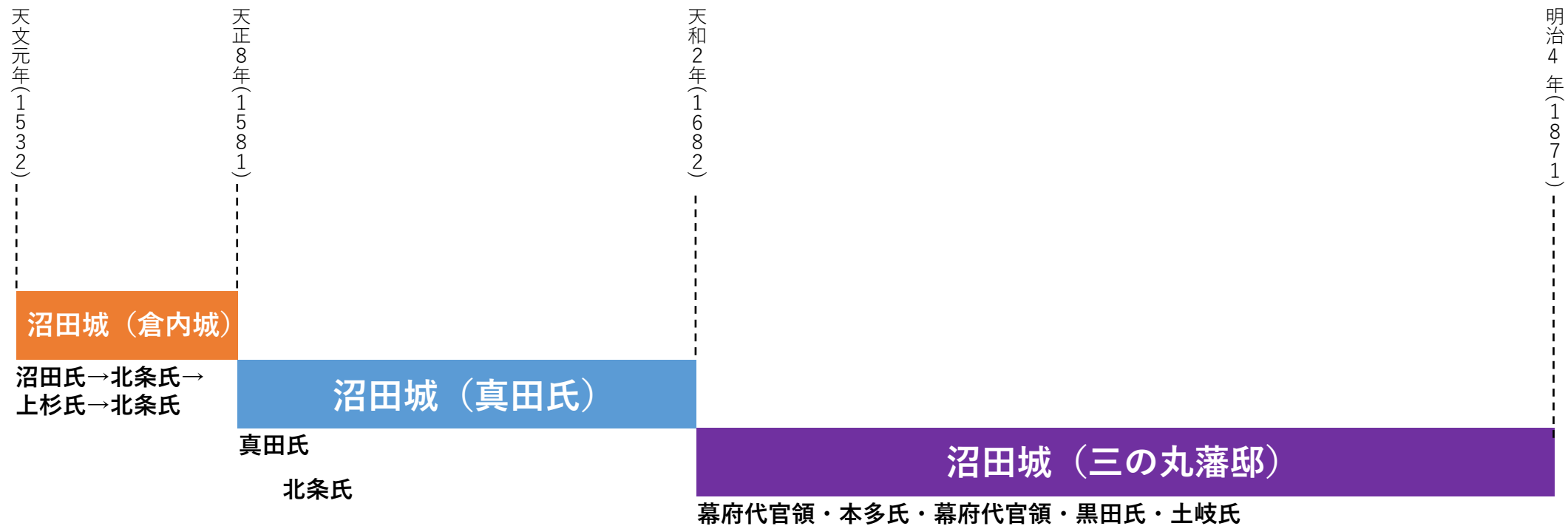
4 文献史料調査の成果 沼田城の年代や築城主体、政治史上の位置付けを整理する

(1) 沼田城の年表

天文元年(1532)頃	沼田氏が築城
永禄初め頃(1558～60)	北条氏が沼田城を支配
永禄3年(1560)	上杉氏が関東へ進出、沼田城を支配
天正6年(1578)	御館の乱に伴い北条氏が沼田城を支配
天正8年(1580)	武田氏配下の真田氏が沼田城を支配
天正11年(1583)～	真田昌幸が沼田城を整備
天正17年(1589)	豊臣秀吉の裁定（沼田領裁定）により北条氏が沼田城を支配
天正18年(1590)	北条氏が滅亡、真田氏が沼田城を支配
慶長元年(1596)～	真田信之が沼田城を整備
慶長2年(1597)	真田信之が天守を建設
万治元年(1658)～	真田信直が沼田城を整備
天和元年(1681)	真田信直が改易される
天和2年(1682)	沼田城が破城される
元禄16年(1703)	本多正永が沼田藩入封
享保17年(1732)	黒田直邦が沼田藩入封
寛保2年(1742)	土岐頼稔が沼田搬入封
明治4年(1871)	廃藩置県

4 文献史料調査の成果 沼田城の年代や築城主体、政治史上の位置付けを整理する

(2) 沼田城の全体象



4 文献史料調査の成果 沼田城の年代や築城主体、政治史上の位置付けを整理する

(3) 真田氏時代の沼田城

